

サイエンスカフェ in 静岡



申込不要
参加
無料

サイエンスの最前線をわかりやすくお話しします。コーヒーとお菓子を用意してお待ちしております。お気軽にお越し下さい。

場所 B-nest静岡市産学交流センター

静岡市葵区御幸町3-21 ペガサート(新静岡センター西隣り)
6階プレゼンテーションルーム、7階大会議室(9月の第20話のみ) アクセス: <http://www.hanjyou.jp/>

時間 各日 18:00~19:30

1月
29日(木)

第24話

宇宙の起源への旅

～時間と空間とは～

青山昭五 (理学部物理学)

私たちの太陽系から出発して、銀河系外にも飛び出して、宇宙最遠の探査の旅にいざないます。そこから137億年前の宇宙のビッグバン、CP対称性の破れ、それに続いたインフレーション、そして今も加速膨張している“謎だらけの宇宙”の姿に迫ります。



2月
19日(木)

第25話

世界で最も深い海洋底に挑む

～潜水艇しんかい6500によるマリアナ海溝研究～

道林克禎 (理学部地球科学)

しんかい6500は、深度6500mまで潜水が可能な、世界で最も深く潜れる有人潜水艇です。このしんかい6500を使った最先端の調査研究を紹介します。



3月
26日(木)

第26話

フェロモンやホルモンにまつわる鼻の話

菊山 榮

(理学部客員教授、早稲田大学名誉教授)

鼻は匂いを嗅いだり、呼吸をするのに必要ですが、匂いのないフェロモンを感じとったり、ある種のホルモンをつくる細胞を脳に供給する役目も担っています。このような鼻の役目とフェロモンやホルモンのはたらきについて解説します。



4月
23日(木)

第27話

超臨界流体

—水と二酸化炭素によるリサイクルとものづくり—

岡島いづみ (工学部物質工学)

水と二酸化炭素は私たちの身の回りにあるなじみの深い流体です。これらを使ったものづくりやリサイクルの技術とは? 超臨界状態にした水や二酸化炭素はどのようなもので、どのように使うことができるのかを紹介します。



5月
28日(木)

第28話

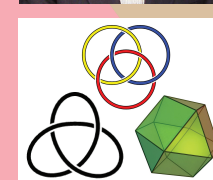
不思議な形の分子合成

—遊び心と数学と化学の融合—

木村 榮一

(理学部客員教授、広島大学医学部名誉教授)

大昔から美しい形、不思議な形は人の心をひきつけ、数学の研究対象にもなっています。三つ葉結び目、ポロメオの輪、立方八面体の各分子合成など、遊び心から生まれた最新の化学研究を紹介します。



お問い合わせ

☎054-238-4763
(近藤)

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
[e-mail] sci-cafe@ipc.shizuoka.ac.jp
<http://www.shizuoka.ac.jp/~rigaku/sciencecafe/>

主催: 静岡大学理学部